

2020年7月22日

報道関係者各位

東急不動産株式会社

～東急不動産が提案する新しい『住まい方』と『働き方』～
「コンフォリア秋葉原ノース」でテレワーク対応
新規入居者にビジネスエアポートの利用券を配布

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）は2020年7月28日竣工予定の賃貸マンション「コンフォリア秋葉原ノース」（所在：東京都台東区、以下「本物件」）で、新型コロナウイルスの感染拡大を契機にテレワークが急激に広がっている現状を踏まえ、入居者がテレワークに対応しやすいよう当社が運営する「ビジネスエアポート(※1)」の利用券を配布することにしましたのでお知らせいたします。

(※1) 当社が「クリエイティブで快適なワークスペースの提供」をコンセプトに運営するシェアオフィス。現在、首都圏で12施設（青山・品川・東京・丸の内・六本木・神田・新橋・渋谷南平台・日本橋・渋谷フクラス・目黒・恵比寿(2020年7月27日開業予定)・竹芝(2020年9月14日開業予定)）を展開する

■ 導入の背景・今後の展開

新型コロナウイルスの感染拡大で「働き方」が大きく変化し、テレワークの浸透・拡大に伴ってシェアオフィスの需要も高まるなど、働く場として「オフィス」以外に「自宅」や「シェアオフィスなどのいわゆる『サードプレイス』」など様々な場所が活用されるようになっております。当社は住宅事業のほかシェアオフィス事業も手掛けている点を活かし、本物件の新規入居者にビジネスエアポート全施設で使える利用券を入居特典として1世帯当たり10回分（使用期限あり）を配布することといたしました。

今後は、コンフォリアシリーズだけでなく、当社が展開する分譲マンションである「BRANZ（ブランズ）」シリーズでも連携を検討していきます。東急不動産の持つ総合力を活かし、入居者が新しい働き方に対応しやすいようサポートしてまいります。

■ 様々な社会課題の解決を進めます

当社は、サステナビリティビジョンとして「社会課題の解決」を掲げており、常に社会課題と向き合い、事業活動を通じて解決に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大により世の中が大きく変化し、withコロナ時代の新しい生活様式が求められる中、当社の幅広い事業領域を活かし、新しい日常の提案を行うなど、引き続き、様々な社会課題の解決にグループ全体で事業で取り組んで参ります。



■ 対象物件

物件名：コンフォリア秋葉原ノース
住所：東京都台東区台東一丁目1番13号
交通：東京メトロ日比谷線「秋葉原」駅徒歩9分
JR総武線「浅草橋」駅徒歩8分
都営大江戸線「新御徒町」駅徒歩10分
敷地面積：317.25㎡（95.96坪）
構造規模：鉄筋コンクリート造地上14階
総戸数：55戸
竣工時期：2020年7月28日



コンフォリア秋葉原ノース 外観パース

■ 案内図

